

# 2025年度 事業報告書

自 2025年 4月 1日

至 2026年 3月31日

公益財団法人 日本感染症医薬品協会

## I. 公益事業

### 1. 普及啓発

#### (1) 機関誌及び刊行物等

##### ① The Journal of Antibiotics

Vol.78, No.4~12 及び Vol.79, No.1~3 を毎月 27 日に発行した（総論文数 83 編、796 頁）。なお、No.3 は特集号「Unusual Biosynthetic Gene Clusters for Genome Mining」として刊行した。また、2025 年 10 月 1 日に、本協会会議室において国内編集会議を開催した。

2025 JA Ōmura Award の投票が行なわれ、次の論文が確定した。メダルと賞状の授与は 2026 年度に行なわれる。選考対象論文：Vol. 76 (2023) - 78 (2025)

##### Review article

受賞論文：Development of a drug discovery approach from microbes with a special focus on isolation sources and taxonomy [Vol. 76, p.365, 2023]

著者：Yasuhiro Igarashi

##### Article

受賞論文：Comprehensive analysis of biosynthetic gene clusters in bacteria and discovery of *Tumebacillus* as a potential producer of natural products [Vol.76, p.316, 2023]

著者：Yuta Kikuchi, et al.

##### ② The Japanese Journal of Antibiotics

Vol.78, No.2~4 を 2025 年 6 月、9 月、12 月の 25 日に、Vol.79, No.1 を 2026 年 3 月 25 日に、電子ジャーナルとして発行した（総論文数 6 編、113 頁）。なお、住木・梅澤記念賞および奨励賞の受賞者による受賞テーマ関連記事を取りまとめたバーチャルイシューを作成し、公開した。

2026 年 2 月 4 日に本協会会議室（一部リモート参加）において、編集会議を開催した。

##### ③ 感染症と感染症医薬品に関する啓発資料等の作成

一般の方を対象とした啓発動画（①大人がうけるワクチンの話）を作成し公開した。

#### (2) 講演会

##### ① 記念講演

###### 1) 住木・梅澤記念賞の受賞記念講演

受賞者なしのため実施せず

2) 日本感染症医薬品協会奨励賞の受賞記念講演

2025年11月18日

[主婦会館]

受賞者：犬飼 達也（東京医科大学微生物学分野）

受賞講演：「肺アスペルギルス症に対する新規治療法の開発：真菌標的型 DDS×核酸医薬の融合による新規治療アプローチ」

② メディカル・サイエンス セミナー

1) 2025年7月1日

[日本橋ホール]

講師：尾内 一信 先生（川崎医療福祉大学医療福祉学部 特任教授）

講演1：「マイコプラズマ肺炎流行の動向と治療上の留意点」

講師：河野 茂 先生（元国立大学法人長崎大学 学長）

講演2：「感染症化学療法の進歩と今後への期待」

2) 2025年11月18日

[主婦会館]

講師：松元 一明 先生（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座 教授）

特別講演：「抗菌薬 PK/PD の最前線—個別化医療の実現と新規モデル構築による抗菌薬開発のイノベーション—」

3) 2026年1月22日

[野村コンファレンスプラザ]

講師：松本 哲哉 先生（国際医療福祉大学医学部感染症学講座 代表教授）

講演1：「抗菌薬の安定供給に関する課題」

講師：四柳 宏 先生（国立健康危機管理研究機構 研究連携推進担当 理事）

講演2：「国立健康危機管理研究機構（JIHS）のこれまで これから」

③ 出張講演

以下の8回の講演を実施し、要旨を当会HPに掲載した。

1) ゆめの園中野林特別養護老人ホーム（さいたま市）（2025年4月18日）

講演内容：疥癬の感染対策の基本

講師：前崎繁文 先生（埼玉医科大学）

2) ワーカーズいきいきサポート労働者協同組合デイサービス神鹿（江戸川区）（2025年5月23日）

講演内容：感染症って何だ？—感染メカニズム、感染性胃腸炎、予防について—

講師：荒川創一 先生（井口腎泌尿器科）

3) 社会福祉法人仁和会 はるみ福祉園（府中市）（2025年6月21日）

講演内容：施設で起こりうる感染症とその防止策

講師：土屋尚子 先生（江戸川病院）

4) 老人養護ホーム湯々館（兵庫県川西市）（2025年7月9日）

講演内容：高齢者施設における感染対策

～継続可能な方法で感染対策の質を上げよう！～

講師：太田悦子 先生（大阪大学医学部附属病院）

5) 読売新聞東京本社（千代田区）（2025年10月2日）

講演内容：コロナやインフルから身を守る

～治療薬・ワクチンの効果的な使い方を含めて～

講師：舘田一博 先生（東邦大学）

6) 障害者支援施設 はくちょう園（羽生市）（2025年12月10日）

講演内容：新型コロナウイルス・インフルエンザの予防

～拡げない・持ち出さない・持ち込まない

講師：小美野勝 先生（埼玉県済生会加須病院）

7) プリモホールゆとろぎ（羽村市）（2026年1月18日）

講演内容：1部 ワクチン開発歴史～ジェンナーからmRNA ワクチンまで～

2部 2025年をふりかえってみると

講師：中山哲夫 先生（北里大学）

8) 海田町福祉センター（広島県安芸郡）（2026年3月11日）

講演内容：これからの感染対策

講師：大毛宏喜 先生（広島大学）

### （3）行政機関及び内外の諸団体との連絡、協力及び交流

#### ① 行政機関との連絡及び協力

##### 1) 厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課

薬剤耐性対策の一環として、貴重で重要な薬剤の適正使用に努めるため組織された「バンコマイシン研究会」が2025年11月12日に、「リネゾリド研究会」が2025年12月9日に開催され、担当官が出席した。

##### 2) 厚生労働省 医薬局 医薬安全対策課

医薬品審査管理課担当官とともに、2025年11月12日に開催された「バンコマイシン研究会」、2025年12月9日に開催された「リネゾリド研究会」に担当官が出席した。

##### 3) 厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 他

2025年10月9日に開催されたβラクタム抗菌薬原薬国産化委員会に、担当官がオブザーバーとして出席した。また、同委員会には、内閣官房国家安全保障局、経済産業省からも担当官がオブザーバーとして出席した。

#### ② 内外の諸団体との共催、後援、連絡、協力及び交流

##### 1) 第35回新薬創製談話会 共催

2025年7月31日～8月1日

[ラフォーレ伊東温泉 湯の庭 (伊東)]

- 2) 第47回トラベラーズワクチンフォーラム研修会 共催  
2025年9月13日 [オンライン開催]  
第48回トラベラーズワクチンフォーラム研修会 共催  
2026年2月21日 [オンライン開催]
- 3) 第99回日本感染症学会学術講演会/第73回日本化学療法学会総会 合同学会  
2025年5月8～10日 [パシフィコ横浜]  
第40回日本環境感染学会総会・学術集会  
2025年7月10～12日 [パシフィコ横浜]  
第74回日本感染症学会東日本/第72回日本化学療法学会東日本  
2025年9月24～26日 [朱鷺メッセ]  
第95回日本感染症学会西日本/第73回日本化学療法学会西日本  
2025年11月28～30日 [福岡国際会議場]

## 2. 研究助成及び表彰

### (1) 住木・梅澤記念賞

住木・梅澤記念賞選考委員会が、2025年7月24日、本協会会議室とオンラインとのハイブリッド会議にて開催されたが、今回は授賞者無しとなった。

### (2) 日本感染症医薬品協会奨励賞

日本感染症医薬品協会奨励賞選考委員会が、2025年7月22日、本協会会議室とオンラインとのハイブリッド会議にて開催され、東京医科大学 微生物学分野 犬飼 達也氏が選考された。

## II. 共益事業

### 1. 月曜会

特別会員幹事会である月曜会が、2025年6月26日、11月6日、及び2026年2月19日に本協会会議室において開催された。また、月曜会開催時に、外部講師を招いて勉強会を開催した。更に、月曜会運営や協会活動への関与、協議を行うための、月曜会幹事会を適宜開催した。

<月曜会勉強会の講師とテーマ>

#### 1) 2025年6月26日

講師：渡邊 哲 先生 (千葉大真菌医学研究センター)

テーマ：真菌感染症の 基礎及び臨床のアップデート

#### 2) 2025年11月6日

講師：五十嵐 中 先生 (東京大学大学院薬学系研究科医療政策・公衆衛生学)

テーマ：ワクチンの費用対効果評価・ 価値評価

3) 2026年2月19日

講師：松本 邦男 先生（神奈川工科大学）

テーマ：国産ペニシリン開発にまつわるお話 ～日本感染症医薬品協会の原点～

## 2. 抗微生物薬等審査報告書データベース作成分科会

抗微生物薬等審査報告書データベース作成分科会は、承認分のデータを入れることとしている。

## 3. バンコマイシン研究会

バンコマイシン研究会が、2025年11月12日に、本協会会議室(一部リモート参加)において開催され、耐性菌発現状況及び販売数量について報告された。また、承認条件の一部について解除については、「安全性定期報告に準じた報告書を年1回厚生労働省に提出」が解除された。

厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課 担当官より、長年の取り組みに関して謝辞があり、VCM耐性菌については、問題がないことが確認できてよかったこと、また、安全性定期報告に準じた報告書の提出(承認条件)の解除については、状況の変化により現時点では公衆衛生上過度な対応になっている規制など行政側で改善の余地がある部分があれば、相談を頂ければ都度検討したいとのコメントがあった。

## 4. リネゾリド研究会

リネゾリド研究会が、2025年12月9日に、本協会会議室(一部リモート参加)において開催され、感受性調査の概要と感受性測定結果、リネゾリド製剤の出荷量について報告された。一部解析方法について、コメントがあった。

厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課 担当官より、特段大きな問題が起きていないことが確認でき、我々も安心して対応できる。また、現行の薬事規制に関しては、当時は妥当性があったが、現在そこまで求める必要がないのではないかといったご意見があれば、必要な改正も含めて検討したいので、ご連絡頂きたいとのコメントがあった。

## 5. $\beta$ ラクタム抗菌薬原薬国産化委員会

$\beta$ ラクタム抗菌薬原薬国産化委員会が、2025年10月9日に、衆議院第一議員会館会議室において開催され、各企業から進捗状況が報告された。国産化については、前進しているが、今後の供給体制、コスト負担が課題となることが確認された。

### III. 収益事業

#### 1. 賃貸事業

本協会の建物のうち1階、5階を一般財団法人機能水研究振興財団に、3階を認定特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会に賃貸している。また、4階会議室については、希望がある時に、随時、貸し出している。

### IV. 管理事業

#### 1. 理事会及び評議員会

第50回理事会	2025年5月15日	[本協会会議室 Web会議]
第16回評議員会	2025年6月5日	[本協会会議室 Web会議]
第51回理事会	2025年6月13日	[Web会議]
第52回理事会	2025年10月23日	[本協会会議室 Web会議]
第53回理事会	2025年11月13日	[Web会議]
第54回理事会	2026年2月12日	[Web会議]
第55回理事会	2026年3月19日	[本協会会議室 Web会議]

#### 2. 運営体制の充実を図るための取組

当法人では、適正な法人運営及び内部統制の強化を図るため、理事会・監事・事務局間の連携を密にし、管理体制の充実に努めた。特に監事による監査機能の実効性確保の観点から、年度末監査に加え、期中においても業務執行状況及び会計処理状況等の確認を実施し、適正な法人運営の確保に努めた（2025/5/12、2025/10/20、2026/3/16）。また、日常業務においても、会計処理及び各種契約・稟議等について複数名による確認を行うなど、チェック体制の強化を図った。

### V. 物故役員等

元評議員、元奨励賞選考委員、学術委員 小田切 繁樹 先生（2025年10月24日）

## VI. 特別会員

旭化成ファーマ株式会社	第一三共株式会社
ヴィアトリス製薬合同会社	大鵬薬品工業株式会社
ヴィアトリス・ヘルスケア合同会社	武田薬品工業株式会社
栄研化学株式会社	中外製薬株式会社
エーザイ株式会社	デンカ株式会社
MSD 株式会社	東和薬品株式会社
大蔵製薬株式会社	日医工株式会社
大塚製薬株式会社	日医工岐阜工場株式会社
株式会社大塚製薬工場	ニプロ株式会社
科研製薬株式会社	ニプロファーマ株式会社
杏林製薬株式会社	一般社団法人日本血液製剤機構
キリンホールディングス株式会社	一般社団法人日本ワクチンアクション
グラクソ・スミスクライン株式会社	ビオメリュー・ジャパン株式会社
KM バイオロジクス株式会社	光製薬株式会社
サノフィ株式会社	ファイザー株式会社
沢井製薬株式会社	富士フイルム富山化学株式会社
参天製薬株式会社	マルホ株式会社
塩野義製薬株式会社	ミヤリサン製薬株式会社
シオノギファーマ株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社
シスメックス株式会社	モデルナ・ジャパン株式会社
住友ファーマ株式会社	

[3月31日現在 41社]

## VII. 月曜会委員

旭化成ファーマ株式会社 (岸田 三一・大橋 桃子・早川 享)	第一三共株式会社 *
科研製薬株式会社 (小川 勝)	(大江 慶司・藤谷 純章)
KM バイオロジクス株式会社 (新村 靖彦・岩本 征士)	武田薬品工業株式会社 (大野 孝順)
塩野義製薬株式会社 (吉田 博之・有安 まり)	ファイザーR & D 合同会社 (大田 誠)
住友ファーマ株式会社 (竹本 浩司)	富士フイルム富山化学株式会社 (島田 諭・地曳 康訓)
	Meiji Seika ファルマ株式会社 (近藤 賢一郎・加藤 誠司)

[構成会社 10 社 (委員名) \* 幹事会社]

\* 月曜会 抗微生物薬等審査報告書 DB 作成分科会委員

大江 慶司 (第一三共株式会社)

地曳 康訓 (富士フイルム富山化学株式会社)

## VIII. バンコマイシン研究会

ヴィアトリス製薬合同会社 (神蔵 巧)	東和薬品株式会社 (土屋 啓子)
ヴィアトリス・ヘルスケア合同会社 (石川 淳)	日医工株式会社 (光成 晃輝)
大蔵製薬株式会社 (横谷 彰)	日医工岐阜工場株式会社 (高瀬 宏樹)
沢井製薬株式会社 (川上 有香)	Meiji Seika ファルマ株式会社 * (片岡 裕史)

[構成会社 8 社 (委員名) \* 幹事会社]

IX. リネゾリド研究会

沢井製薬株式会社

(川上 有香)

日医工株式会社

(光成 晃輝)

光製薬株式会社 \*

(荻野 慎也)

ファイザー株式会社

(岡本 高幸)

Meiji Seika ファルマ株式会社

(片岡 裕史)

[構成会社 5 社 (委員名) \* 幹事会社]

X.  $\beta$ ラクタム抗菌薬原薬国産化委員会

シオノギファーマ株式会社

(西舘 修)

ニプロファーマ株式会社 \*

(川村 尚久)

Meiji Seika ファルマ株式会社

(田前 雅也)

[構成会社 3 社 (委員名) \* 幹事会社]

XI. Friends of the Journal

旭化成ファーマ株式会社

Asahi Kasei Pharma Corporation

杏林製薬株式会社

KYORIN Pharmaceutical Co., Ltd.

富士フイルム富山化学株式会社

FUJIFILM Toyama Chemical Co., Ltd.

Meiji Seika ファルマ株式会社

Meiji Seika Pharma Co., Ltd.

[法人 4 社]